



さつまいもはツルが地面を覆うようになるまで（植付後40～50日）の初期雑草の発生量が、その後のイモの肥大に影響します。梅雨時期の作業になりますので、天気予報を確認しながら、作業を進めましょう。

## ○除草体系

茎葉処理剤や土壌処理剤を組み合わせ、畦間がツルで覆われるまでに2回散布を行う方法が基本的な除草体系になっています。雑草の発生状況やほかの作業との競合などを考慮して、除草方法を検討してください。

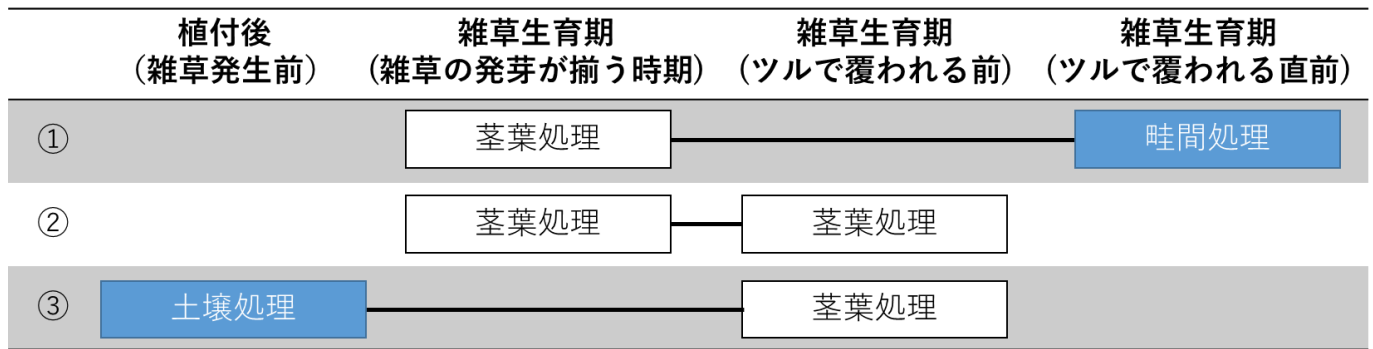


図1. 除草体系の例

※土壌処理剤は、雑草の発生後には効果が劣るため、雑草発芽前に散布してください。  
※茎葉処理剤は、茎葉が濡れている条件での散布や散布直後に降雨があると効果が劣るため、天気予報をよく確認しながら作業を行ってください。

## ★除草によるツルの切断や薬害に注意！！

- ・除草が遅れ、さつまいものツルと一緒に雑草を刈りはらう
- ・非選択性除草剤の畦間処理で、さつまいもの茎葉に薬がかかる  
⇒さつまいもの生育停滞や収量・品質の低下につながります。

除草が遅れた場合は選択性除草剤を使う、畦間散布時は薬剤の飛散防止用のカバーを取り付ける等の対策を行いましょう。



図2. 雑草が繁茂したほ場



図3. 非選択性除草剤の薬害

○「作物名 かんしょ」で登録されている主な除草剤(2024年6月1日現在 農薬登録情報)

※農薬の使用前に、必ずラベル記載の登録内容を確認し、農薬使用基準を守って使用してください。

種類	対象雑草	除草剤名	使用時期	使用回数	使用方法
土壌処理剤	一年生雑草	デュアルゴ ールド※ <sup>1</sup>	挿苗後 但し、収穫90日前まで (雑草発生前)	1	全面土壌散布  雑草茎葉兼土 壌散布(畦間 処理)※ <sup>3</sup>  全面土壌散布 又は畦間土 壌散布
			マルチ前・挿苗前(雑草発生前)	1	
		レンザー※ <sup>2</sup>	植付後 但し、収穫30日前まで	2	
		コロックス	苗移植前まで	1	
			生育期 但し、収穫45日前まで (雑草生育期)	1	
		トレファノサ イド乳剤※ <sup>4</sup>	挿苗後雑草発生前 (但し、収穫60日前まで)	2	
茎葉処理剤	一年生雑草	プリグロク スL液剤	植付前	3	雑草茎葉散布
			畦間処理：雑草生育期 但し、収 穫30日前まで	3	
		バスタ液剤	収穫14日前まで(雑草生育期挿苗 前又は畦間処理)	2	
	一年生イネ 科雑草 (スズメノ カタビラを 除く)	ナブ乳剤※ <sup>5</sup>	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1	雑草茎葉散布 又は全面散布
			雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 但し収穫30日前まで	1	

※1 広葉雑草(特にアカザ科)には効果が劣るため、イネ科雑草優占ほ場で使用する。水稻に薬害を生ずるおそれがあるため、当年または翌年の水稻栽培を避ける。

※2 残効性が長く、後作物(特に、イネ科、マメ科、ウリ科、ナス科及びアブラナ科作物)に対して影響を及ぼすことがあるため注意する。

※3 散布適期は雑草生育期(雑草の草丈10cm以下)であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、適期に散布する。

※4 ツユクサ、カヤツリグサ科、アブラナ科、キク科などの雑草を除く。定植後の畦間散布は薬害を避けるため、定植直後(苗が活着するまで)から雑草発生前までに行う。

※5 遅効的であり、イネ科雑草を完全に枯殺するまでに7~10日を要する。

★2回目の除草剤散布時には、虫の確認を！！

昨年は夏期の高温乾燥により、イモコガ(イモキバガ)が多発しました。生育初期に多発すると収量に影響するため、2回目の除草剤散布時に発生状況を確認し、発生が多く見られた場合は薬剤防除(オリオン水和剤40、スミチオン乳剤等)を検討してください。



図4. イモコガ  
(イモキバガ)

幼虫は葉を巻いたり、つづり合わせた中に潜み、表皮を残して食害します。